

令和4年度 大和中学校 第1回 学校運営協議会 議事録

令和4年5月16日（月）大和中学校にて実施

1 会長挨拶

昨年度からの委員の多くが継続で参加できる。「大和の日」をどう盛り上げるかについての方向性が明らかになった。大和全体に広がるとよい。それが成果となる。大和中のひまわり宣言（人権宣言）は学校の伝統として、これまでもこれからも大切にしていけるとよい。今年度は、実践の年。多くの人を巻き込んで実践していけるとよい。

2 学校経営方針について

【学校長から】

4月から全校生徒188名でスタートした。（担任の先生方の紹介スライドあり）素敵な笑顔がたくさんあふれていてうれしい。学びと諸活動を通して、生徒の心を育てていきたい。その柱として、心と体（身体）を支える「命」を大切にしていきたい。まずは、不登校傾向の生徒の支援を大切にしたい。コロナ禍のため、思うように活動できない今、生徒が地域に位置付き、皆さんのお力添えをいただきながら育ててほしい。県内の不登校生徒は、近年増加しており、自殺者も増えている。生徒が学校、地域のどこかで位置付いていくことが大切。学校教育目標の「自立・共生 ～自ら考え取り組む生徒・自他を思いやり行動する生徒」をめざし、「地域に大和中」をスローガンに、「やまとの日」「ひまわり満開Project」「地域行事への参加」を具現していきたい。昨年度、特に「やまとの日」の具現を支えていただいたのが、学校運営協議会の皆様。学校職員は毎年異動があるが、地域の方々が生徒の心のよりどころ（幹）となっていたらありがたい。先日、5月8日に行われた「やまとスポレク祭」には、72名の生徒が希望して参加した。高齢の方からお礼をいただいたり、運営される地域の方々から声をかけていただいたりした。こういったことが、運営協議会での成果となっていく。いろんな地域の方々に、学校で直接話をしていただけたらありがたい。先日生徒が、ひまわりの種植えをした時に、1つの小さなポットに、10粒の種を植えることがあった。担当の清水先生が、放送で生徒に「どう感じるか」を丁寧に投げかけてくれた。9月25日の「やまとの日」に向けて、この運営協議会が地域学校協働本部のような位置付けとなり、支えていただきたい。

【質疑応答】

Q. 昨年度から変更点はあるか。

A. ないです。

Q. 生徒数の推移は。

A. 10年後までは2学級で推移。1学級30人台の状況は減少し、20人台となっていく。

□ 4小学校の統合と併せて、4公民館も統合されていく。子どもの数が減少するため、公民館としてどうつながっていくかが課題。小中学生がいない地区をどうするかが心配である。

Q. いじめについて、学校長はどのようにお考えか。

親としてもやらなければならないこともあるが、解決策がわからない。

A. 特効薬はない。どれだけ生徒に寄り添えるかが大事。子どもは不完全であるから、その子の答えを一緒に見つけていきたい。未然防止が大事。現在、生徒へのアンケートを基にして、各学級で教育相談を実施している。

□ 経営方針の2の「学校運営協議会を要とした…」とあるように、私たち委員がどう機能できるかを、1年間かけて考えていきたい。

※会員全員の拍手により、学校経営方針は承認。

3 「やまとの日」「ひまわり満開 Project」の活動について

【担当の清水先生から】

本年度、大きく3つの活動を考えている。

1つ目は、9月25日の「やまとの日」。それに向けて、現在、各公民館の運営協議会に3～4名の生徒が参加している。生徒も自覚が芽生えてきて、足場が整ってきた。

2つ目は、「ひまわり満開 Project」。現在、植えたひまわりの種から芽が出始めた。先ほど学校長がお話した問題は、子どもと向き合うチャンスと捉えている。苗はこれから定植していき、7月中旬頃に開花する見通し。

3つ目は、「各行事への参加」。生徒がやりがいを感じている。5月29日に南公民館の春祭りがあり、それに向けても生徒が主体的に動いている。参加するよさを感じてきている。ぜひ、生徒が役立てる、一緒に活動できそうなことがあれば、情報をいただきたい。

この場で、ご検討いただきたいことが3つ。1つ目は、「やまとの日の活動単位」。地区ごとに検討していくが、公民館または自治会のどちらの単位がよいかなど、何を、どこで、規模、準備、当日の段取り等。2つ目は、「当日までの会の進め方」。3つ目は、「ひまわりの苗の定植の日を地域に伝える手段」。

<「やまとの日の活動単位」と「当日までの会の進め方」について>

- ・令和3年度末の3月に、公民館スタッフ生徒38名が希望で決まり、公民館役員の運営組織に位置付いた。意図は、生徒が予算を含めて企画・運営をしやすいように。
- ・6月に、「やまとの日実行委員会」を各公民館で実施する。その時に、それぞれの公民館と自治会の状況で検討できる。
- ・公民館の実行委員会に、学校運営協議会のメンバーも参加し、8月末にはすべての活動の一覧ができるようにしてはどうか。
- ・木島公民館長から、実行委員会の期日とメンバーを教えていただく。
- ・学校運営協議会委員が関わる組織・個人がどう関わるか、外回りから考えて、予算、人、物の点からサポートしていく。

<「ひまわりの苗の定植の日を地域に伝える手段」について>

- ・公民館、自治会、企業、いろんなどころでいろんな人に伝えていく。
- ・自治会の回覧板では、すぐに回らないので、一番はやはり「ロコミ」。
- ・期日は前日に決まる場合もあるので、学校からメールで連絡し、受信した人があらゆる方法で広める。
- ・「まるっとやまと」には、定植日が決まりそうな期間だけ伝えておく。
- ・「ケーブルテレビ」にあらかじめ伝えておいて、期日が決まったらすぐに連絡し、放送してもらうこともできるだろう。
- ・継続的な取組であり、ストーリー性がある。「まるっとやまと」と「ケーブルテレビ」に連載をお願いしてはどうか。

4 その他

- ・生徒が地域の方々の意見を聞くために自作したチラシは、生徒会執行部のある生徒の公約でもあるが、地域の方々の意見やニーズをお聞きし、役立ちたいという願いがある。生徒が地域に行った時、ぜひ地域の方々のニーズを伝えていただきたい。
- ・「やまとスポレク祭」に72名もの生徒の参加があったことに、公民館として驚いている。公民館としても、どうしたら中学生が喜んでくれるかを考えたが、予算を含めて公民館としてなかなか十分に用意ができなかった。コロナ禍でどれだけ利用できるかもあり、種目も大幅に削った。

Q. 授業参観や学校行事などで、子どもたちに接する機会が少ない。昨年度は12月に交流

会があり、子どもたちの実態がわかった。できる限り子どもたちに接する機会をお願いしたい。

A. 7月15日に予定されている授業参観も、保護者を2つの地区に分け、前後半に分かれて参観していただく。コロナの状況でこれもまた変わっていくが、来校可能な学校運営協議会の委員さんも参観していただく。

Q. 学校運営協議会に自治会から参加いただく委員さんはどのように選出すればよいか。

A. これまでは、大和地域自治会副支部長2名のうち、中学校担当の方に参加していただいていた。

・ひまわりの種植えの時に、美並の粥川地区の方が来てみえた。郡上市の他地区に広まっている。私たちは子どもたちと関わりたいと思っているので、先ほどのチラシのような関わり方を知りたい。

【会長から】

学校の経営方針は、命を土台としてどう関わるかがわかりやすかった。また、「やまとの日」への取組が進んでいるのはうれしい。ひまわりの花も、昨年度まで詰めてきたことが具現してきている。学校教育目標の「主体性」と「思いやり」の2つの柱が、生徒が自作したアンケートにも入っている。子どもたちが「地域に開こう」という気持ちが広がっている。